

2012年1月14日

まほろば会2012年初詣会道順ほか

- 10:00 JR飯田橋駅東口集合。天野挨拶、本日の主旨・行程等説明。「東京大神宮パンフレット」配布・説明。新入会員（山田氏）紹介。（10:05迄）
- 10:15 東京大神宮参拝。（10:30迄）
- 10:40 「牛込門跡」到着。まず「阿波守内」石の説明。それから説明版の前に集合して説明。（10:50迄）
- 10:55 牛込橋の中程まで移動して説明（高低差）。（11:00迄）
- 11:05 旧甲武鉄道「牛込駅跡（石垣）」到着・説明。そのまま「市谷門跡」方面へ土手を進む。5分ほど進んだところで説明に入る。
- 11:15 説明場所で「江戸城外堀跡ガイドマップ」を全員に配布・説明（江戸城の件も）。（11:25迄）
- 11:30 「市谷門跡」到着（石垣の立札説明）。時間があれば「市谷橋下の石垣」見学。
- 11:40 地下鉄南北線市谷駅構内の「江戸歴史散歩コーナー」見学。（11:45迄）その後、外堀通りに沿って「四谷門跡」まで進む。途中で「外濠公園」の説明版前で説明。ここでは公園方面に下りていって濠の深さを実感してもらう。
- 12:00 「四谷門跡」到着。土手側を「食違」まで進む。
- 12:05 「食違」到着（説明版により説明）。
- 12:15 昼食（ホテルニューオータニ「にいづ」）。（13:00迄）
- 13:05 「清水谷公園」到着。大久保利通遭難碑、玉川上水石柁見学。（13:15迄）
- 13:25 「赤坂門跡」到着（説明版により説明）。（13:30迄）その後、「山王日枝神社」へ進む。
- 13:35 「山王日枝神社」到着・参拝・集合写真撮影。その後、外堀通りを溜池・霞ヶ関を抜けて虎ノ門へ進む。
- 14:00 「文部科学省」構内の外堀石垣見学（地下展示室）。（14:10迄）その後、日比谷公園方面へ進む。
- 14:20 「日比谷図書文化館」到着。見学。（14:40迄）その後、「外桜田門」方面に進む。
- 14:55 皇居「外桜田門」到着。見学・説明後解散（15:00）。

平成24年1月14日

平成24年度まほろば会「初詣会」

まほろば会会員の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は日本国にとっても世界にとっても災いの多かった大変な年でありました。東日本大震災で被災された方々は、完全復興までまだまだ長い道程とは思いますが、今年の干支は「辰」。是非すべてにおいて「昇り龍」となって貰いたいと願っております。

さて、本日は「初詣会」にご参加いただき有難うございます。既にご案内のとおり、今回は「国史跡 江戸城外堀の遺構」を訪ねながらの初詣の旅といたしました。訪問先の概要を下記にまとめました。一緒にお渡しするパンフレット等と併せてご参照ください。

[東京大神宮]

- ・「東京のお伊勢さま」とも呼ばれ、伊勢神宮の神々を祀っています。日本で最初に「神前結婚式」を行った神社です。「縁結び」に御利益のある神社として近年人気があります。 明治13年に日比谷の地に「日比谷大神宮」として創建され、関東大震災後の昭和3年に現在の地に移り「飯田橋大神宮」と呼ばれ、戦後になって「東京大神宮」と改名しました。

[江戸城]

- ・江戸の地に最初に根拠地を置いた武家は「江戸重継」。平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての江戸氏の居館が、後の本丸・二の丸辺りの大地上に置かれたとされています。
- ・15世紀の関東の騒乱で江戸氏が没落した後、扇谷上杉氏の上杉持朝の家臣である「太田道灌」が1457年に「江戸城」を築城。江戸幕府の公文書である「徳川実記」では、これが江戸城のはじめとされています。
- ・太田道灌が築いた城は「平山城」でしたが、近世に徳川氏が段階的に改修した結果、総構（惣構）約16キロと、日本最大の面積の城郭になりました。

[江戸城外堀（跡）]

- ・1636年（寛永13年）に雉子橋門から時計回りに「虎ノ門」「溜池」「赤坂・牛込門」「神田川」までの約14キロメートルに及ぶ長大な「外堀」が築かれて、日本最大面積の城郭が完成したのですが、現在は、東京駅周辺から虎ノ門までの堀は埋め立てられ、雉子橋から常盤橋までの日本橋川は護岸が大きく改変されるなど、外堀の多くが滅失しています。
- ・江戸城外堀は、100を超える全国の大名を動員した「天下普請」で、堀の掘削と土手の構築そして城門石垣の建築が主な工事内容でした。各大名は、江戸幕府への忠誠の証として、また「力の示しどころ」として相当な労力（莫大な費用と人力）を注入し、驚くほどの短期間で堀の掘削・石垣の建築をしたようです。
- ・現在「外堀（跡）」として残っているのは、江戸城西方の堀（牛込門から赤坂門までの約4キロ）と虎ノ門周辺の堀石垣です。

[清水谷公園]

- ・麴町区（現千代田区）清水谷に建てられていた大久保利通遭難（明治11年、当時付近に自宅を構えていた大久保利通が暗殺される「紀尾井坂の変」が起きています。）記念敷地一帯が、同碑建設発起人から寄贈されたのを受け、当時の東京市が明治22年5月に都市計画を決定し、23年3月に開園したものです。公園のある辺り一帯は、江戸時代の紀伊家・井伊家の屋敷境にあり、この境が谷であったことと、紀伊家屋敷内に霊水（清水）が湧き出していたことから「清水谷」と呼ばれていました。
- ・大久保公哀悼碑以外に、江戸時代の水道に使われていた「玉川上水石柁」が展示されていて、水にゆかりが深いところだったことがわかります。

[山王日枝神社]

- ・創建の年代は不詳（日枝神社の「由緒」には「鎌倉時代初期に秩父重継がその居館のうちに奉祀した山王宮に始まる。」と書いてあります。）。1478年、太田道灌が江戸城築城にあたり川越の無量寿寺（現在の喜多院・中院）の鎮守であった川越日枝神社を勧請したことに始まり、徳川家康が江戸に移封されたとき、城内の紅葉山に遷座し江戸城の鎮守としたものです。
- ・二代将軍秀忠の江戸城大改築の際には半蔵門外、現在の国立劇場付近に遷座したが、明暦3年（1657年）に江戸を襲った大火「振袖火事」で社殿を喪失したため、1659年4代将軍家綱が現在地に遷座したものです。
- ・明治維新後江戸城は「皇居」となり、日枝神社は「皇城鎮護（皇城の鎮）の神」として皇室から崇められているようです。
- ・近年は東京有数の「パワースポット」（皇居の裏鬼門（南西））としても知られています。

[桜田門]

- ・江戸城の内堀に造られた門の一つで、桜田堀と凱旋堀の間にあり、昭和36年に国の重要文化財に指定されました。
- ・江戸城には「内桜田門」と「外桜田門」の二つの桜田門があるが前者は「桔梗門」とも呼ばれ、単に桜田門という場合には後者を指します。
- ・当初は小田原街道の始点として「小田原口」と呼ばれていましたが、寛永13年にそれまでの柵戸仕立の門を現在のような柁形門に改築し、桜田門と呼ぶようになりました。

[桜田門外の変]

- ・安政7年3月3日（1860年3月24日）に、江戸城桜田門外（現在の桜田門交差点）において水戸藩・薩摩藩の脱藩浪士が彦根藩の行列を襲撃して、大老・井伊直弼を暗殺した事件です。
- ・当日は季節はずれの大雪で視界は悪く、護衛の共侍たちは雨合羽を羽織り、刀の柄に袋をかけていたので、襲撃側に有利な状況だったこともあるが、太平の世に慣れ文弱の徒となっていた彦根藩士の多くが算を乱して逃走してしまったことが、襲撃開始からわずか数分で井伊直弼殺害までいたった大きな要因のようです。

以上